

2015年10月27日

# 負荷をかけずに セキュリティ対策の状況をチェック

(2015年10月19日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

エフセキュアが新たに提供する「**Cyber Security Stress Test (サイバーセキュリティ ストレストテスト)**」、企業によるサイバーセキュリティ対策の強化に貢献。

エフセキュアは、欧州で今月開催されている「欧州サイバーセキュリティ月間」に合わせて、企業がセキュリティ対策の取り組み状況を把握する上で役立つツール Cyber Security Stress Test (サイバーセキュリティ ストレストテスト)を新たに発表しました。Cyber Security Stress Test は、オンライン上で簡単に回答できるテスト形式の新ツールで、甚大な損害をもたらす情報漏洩などのリスクにさらされる脆弱性のチェックに役立ちます。

20 問の質問項目からなる Cyber Security Stress Test により、企業の IT 担当者はセキュリティ戦略において改善すべき点を発見することができます。エフセキュアが最近行った調査では、企業はセキュリティ対策の優先度に一致していないソリューションにコストを費やし、結果として防止すべきリスクにさらされているという状況が明らかになっています\*。

調査から明らかになった例を挙げると、回答者の 94%が、企業規模や業界に関わらず、企業はサイバー攻撃の標的になる可能性があると考えています。さらに回答者は、外部からのサイバー攻撃の阻止をセキュリティ上の最優先事項として捉え、回答者が選んだ最優先事項 6 つのうち 4 項目が外部からのサイバー攻撃の阻止に関するものでした。その一方で、サイバー攻撃対策に不可欠な、エンドポイントでの不正侵入の検出・防止対策を実施していると答えた回答者はわずか 31%でした。

エフセキュアのサイバーセキュリティアドバイザーを務めるエルカ・コルホネンは、調査結果は、企業がセキュリティ対策にかかる費用に見合った保護機能を得られていないことを表していると指摘し、次のように述べています。「現在のサイバー攻撃者は偵察に力を入れており、日和見的攻撃が標的型攻撃の情報収集に利用されています。IT 担当者は自社システムを熟知し、脆弱性を把握して社内システムの保護に努めるべきです。セキュリティソフトをインストールしたあとは何の対策も講じないというのでは、現在の脅威動向に全く注意を払わないことに等しいのです。私たちは、そのような企業が代償を払うケースをたびたび目にしてきました」

Cyber Security Stress Test が扱う主な項目には、エンドポイントの保護、ネットワークセキュリティ、企業の役割とセキュリティポリシーなどが挙げられます。本テストは、セキュリティ対策における実行可能な改善点の特定に役立つ指標を提供することを目的としており、レベル 1 の「高リスク」からレベル 5 の「低リスク」まで 5 段階評価を行うとともに、企業のセキュリティ強化に役立つアドバイスも提供します。

Cyber Security Stress Test の枠組み作りに携わったコルホネンは、本テストは能力成熟度モデルに基づいて作成されており、中小企業が直面する典型的な脅威に対する保護能力を速やかに診断すると説明した上で、次のように述べています。「これらの脅威はネットワーク境界のセキュリティ管理を潜り抜け、ユーザが悪意のあるアプリケーションをインストールしたり機密情報を漏らすことを狙っています。その一方で、コンフィギュレーション管理において適切な対応がとられていないために、既存のエンドポイントセキュリティ製品が最適化されていないケースが多々あることを示すデータがあります。本テストはこの点について注意を喚起することを目的としています」

さらにコルホネンは、効果的なセキュリティ対策を実現するためには、複数のコンポーネントで構成された柔軟な技術ソリューションが必要であると述べています。エフセキュアの法人向けセキュリティ製品プロテクション サービス ビジネスとビジネス スイートを利用すれば、企業は自社のニーズに適合したソフトウェアコンポーネントを選択し、脅威動向の変化に対してセキュリティ対策を進化させることができます。

\*出典：本調査は 2015 年 4 月 26 日～5 月 16 日の期間に実施され、ドイツ、フランス、ポーランド、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、フィンランド、英国の合計 1,780 人の回答者からデータを回収しました。

#### 詳細情報:

Cyber Security Stress Test <https://campaigns.f-secure.com/stresstest/>

\*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

\*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

---



<http://www.f-secure.co.jp/>

## F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、25年以上にわたり世界中の数千万人もの人々をオンラインの脅威から守ってきました。弊社の受賞歴のある製品は、クライムウェアから企業を標的としたサイバー攻撃に至るまで、あらゆる脅威から人々と企業を守っており、40カ国を超える国々に広がる6000以上のリセラー、200以上の通信事業者から購入することができます。弊社の使命は、人々が周りの世界と安全につながるができるように支援することです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社  
カンントリーマネージャ: キース・マーティン  
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F  
設立: 1999年5月  
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

---

### 本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社  
マーケティング部

Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295

Email: [japan@f-secure.co.jp](mailto:japan@f-secure.co.jp)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F

URL: <http://www.f-secure.com>

Blog: <http://blog.f-secure.jp>